

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リズム東伊興			
○保護者評価実施期間	令和7年8月1日 ～ 令和7年9月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年9月2日 ～ 令和7年9月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の皆様より信頼をいただいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様のデイでの様子を連絡帳や送迎時にお伝えする時間を有効的に活用するようにしています。</li> <li>・面談時には現在の様子だけでなく、ご家族の方が考える利用者様の将来像を聞かせていただき、そこに向けての現段階での課題や必要な支援、今後必要になる支援やサービスについてお話をさせていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祝日などを活用した参観日を検討します。</li> <li>・面談や送迎時のだけでなく、気軽に相談や話をしていただけるように、積極的な情報発信を施設側から行えるようなツールの導入、活用ができるよう努めます。</li> </ul>
2	特色ある活動を行っている。（調理活動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念である「生きる力」の具現化として、放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を組み合わせながら食と運動活動を多く取り入れています。</li> <li>・おやつ作りでは、利用者様おひとりおひとりの特性を考慮した作業工程を担当していただくようにしています。</li> <li>・簡単なひと手間をかけるだけでできるものから、本格的な手打ちうどん作りなどバラエティ豊かなメニューを考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偏食の強い利用者様でも調理活動には積極的に参加していただけているため、代替食の提供や除去食の提供など適切に配慮できるよう努めます。</li> <li>・身支度から後片付けまでを調理活動と位置づけ、到着時刻や特性を考慮した作業担当を工夫します。</li> <li>・自立してできることが増え、生きる力の根源である「食」を通して、健康な体作りができるよう、基本活動とのバランスを一層強化します。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎や面談以外での保護者の方との交流や保護者間での交流の機会が提供できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実を図る取り組みに掲げている祝日参観日が設定できていない。</li> <li>・連絡帳を記入する職員の中にはご自宅の送迎に出ない職員もいる。</li> <li>・保護者の皆様のニーズを適切に把握しきれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学、参観は随時受付を行っているが、日にちを決定した方が参加しやすいのではないかな。</li> <li>・どのような形での交流会や、情報交換の場が必要か、アンケートなどを通して把握し、ニーズを踏まえた企画を行う必要がある。</li> <li>・会社主催の行事などへの参加の積極的な呼びかけ等。</li> </ul>
2	地域とのつながりが薄い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実問題として、地域とどのように関わりを持てばよいのか、具体的な場面想定ができていない。</li> <li>・事業所の所在地が学区となっている学校に利用者様がない。</li> <li>・学校や学童、児童館などとの連携は何処が主体となって動くのか示されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣での外活動（公園遊びや歩行など）では積極的に挨拶をしたり、学校が休みの際に近隣で催し物があれば見学や参加し、地域のみなさまに知っていただく。</li> <li>・子ども発達支援事業所ネットワーク等を通じて、他事業所の取組等情報収集を行う。</li> </ul>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和6年10月21日	
児童デイサービス リズム東伊興		利用児童数				22	回収数 15
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0		・思い切り室内で体を動かすには全員一度に行うことは難しいですが、日々の活動の中では、スペースは十分に確保されるように環境整備を行っています。 ・不機嫌など音が通断できるスペースがあるとよいと感じています。が、イヤマフなどを使用して対応しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	1		・人員の配置基準は満たしており、加配職員の配置も行っており、限られた配置の中で最大限、利用者様が安心安全に過ごせる環境を提供できるように工夫をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	1	・下駄箱の位置が子どもの背の高さに合わせて視線が行きやすいところになっていると感じました。	・ご意見ありがとうございます。今年度事業所のリフォーム工事をを行い、小さな段差は解消されています。お子様方の特性や成長に合わせて下駄箱やロッカーの位置など適切に行えるように、これからもきめ細かい配慮ができるように努めます。
適切な支援の提供	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0	・フロアがきれいにリフォームされて、居心地がよさそうな空間になっていました。	・ご意見ありがとうございます。リフォームではできるだけ大きな環境の変化にならないように、床や壁の色は同じようなものにすることで慣れ親しんだ環境を維持しつつ、床は耐クッション性を持たせています。また、柱にはクッション材を巻き、安全にも配慮を行いました。男子トイレの個室も便座の向きを変えることで広さが確保できました。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	3	0	0		・日々の活動を計画するにあたり、作業内容や進め方について、お子様方ひとりひとりの特性に配慮して組み立てています。また、手作業や造形活動では個別支援を行えるよう、職員配置など工夫をしております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	2	0	2		・支援プログラムにつきましては、事業所HPに掲載されております。学校のある日は支援時間が限られますので、おやつ作りと軽い運動が軸となっておりますが、早帰りや休日などは放課後等デイサービスガイドラインに示されている諸活動についても適宜取り入れながら支援を行っております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	・子供のことをよく観察されていて、子どもの性格や行動に色々気づかれています支援計画に反映されていると思います。	・ご意見ありがとうございます。日々のミーティングやケース会議を通して、広く職員から利用者様ひとりひとりの特性などについて共有するようにしています。また、送迎時の申し送りや、面談等を通じて、保護者の皆様とのニーズの把握にも努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1		・「本人支援」につきましては具体的な支援の内容が設定されていると思います。「家族支援」「移行支援」に関しては、面談等を通じて利用者様やご家族のニーズの把握に努め、適切な項目設定がなされるよう、児童発達支援管理責任者を始め、職員全体で内容の理解を深めているところです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	3	0	0		・個別支援計画に沿った支援が行えるように、日々の活動を行っておりますが、利用者様の人数やその日の様子によって計画が変更になる場合があります。その際には保護者の方にお知らせすると同時にご理解いただけるように説明を行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	2		・おやつ作りに関しては固定化されていますが、作業工程を工夫したり、メニューにバリエーションを持たすなどの工夫を行っております。また、簡単に作れるおやつの日には、運動や造形、手作業など様々な活動も組み合わせしております。
保護者への説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	4	3		・児童館や近隣の公園で地域の子どもたちとの場所の共有は行っているところですが、計画立てて活動を共にするという機会は現在、持っておりません。ニーズや状況に応じてどのような形で地域の子どもたちと関わりを持てるか検討しておりますが、優先度的には高くないと認識しております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	6	1	1		・進捗につきましては、成人分野の事業所説明会など不定期ですが、開催を行っております。その際にはご案内をさせていただいておりますので、ご活用いただけたらと思います。家族支援プログラムの開催につきましては、今後、ニーズの把握などを行い、会場で検討して参りたいと思います。ご要望などが御座いましたらお気軽にお寄せください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	1		・保護者面談は年に2回開催させていただいておりますが、定期面談のほか、ご相談などが御座いましたら随時面談の受付は行っておりますので、お気軽にご連絡ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0		・すべてのご利用者様、そのご家族さまから「リズムでよかった」と評価がいただけますよう、これからも利用者様に寄り添った支援が行えるように、職員の支援力向上に努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	7	4		・保護者交流会はコロナ禍で中止となっており、開催されておりませんが、主に成人施設の事業所にてフェス等が開催され、保護者の皆さまとの交流の場にもなっております。開催がありましたらその都度、ご案内させていただきます。また、事業所主催の保護者会なども今後、開催の検討を行ってまいりたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	4		・重要事項説明書に対応の体制について、苦情受付担当、苦情解決担当、虐待防止責任者の記載がございます。また、直接施設には伝えにくい場合の連絡先も掲載が御座いますので、必要に応じて活用ください。また、担当者以外の職員でありましてもご相談は随時受け付けております。お気軽にご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	3	0	0		・利用者様の特性に合わせて適切な方法を用いてコミュニケーションが行えるように工夫しております。また、保護者の皆さまとの情報共有につきましては面談、お電話、書面などご都合の良い方法で行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0	・リズム通信毎月楽しみです。子どもたちがリズムで楽しく過ごしている様子が写真から伝わってきます。	・ご意見ありがとうございます。日々のリズムでのご様子が保護者の皆様へ伝わり、安心してお預けいただけるようにこれからも努めてまいります。SNSの活用なども今後強化し、通信だけでは伝えきれない日々の様子を発信してまいります。必要な情報が確実にお届けできますよう、情報の取扱いに十分留意しながら進めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	0		・運営上必要なマニュアル等につきましては策定がされております。事業所で実施が可能ですので、ご要望がありましたらお知らせください。また、訓練につきましては各マニュアルに限り、適切な回数の実施を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1	・定期的に訓練等をしてくださり、助かります。	・利用者様が参加されている避難訓練は年に2回（5月、10月）実施を行っております。実施の様子については翌月の通信（6月号11月号）でもお知らせしております。今後は非常時の安全確認訓練等も計画し、ブラッシュアップを図りたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		・安全計画は作成され、計画に沿って支援や訓練等を行っております。皆様へ情報が取りまよう、HPへの掲載なども検討してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	2		・体調の急変やケガ、状態の著しい変化が生じた際は速やかにご連絡をさせていただいておりますとともに、連絡帳や送迎時に口頭にてご説明させていただいております。また、必要に応じて行政への届出や報告なども速やかに行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	0		・集団療育の場となっておりますので、時として不安定に過ごす利用者様もいらっしゃいます。そのことにより安心感が得られない時もあるかと思っています。できるだけ安心して過ごせるように職員が寄り添ったり、活動を分けたり、状況に応じた支援を行っております。 ・お子様が安心感を抱けない様子があればご相談ください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0	・慣れ親しんでリラックスして過ごせる第二の居場所となっています。	・嬉しいお言葉ありがとうございます。 ・学校、ご家庭に次いで過ごす時間の長い場所となりますので、今後とも楽しんで通所いただけるように、安心できる環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	1	・色々な所へ連れて行ってくれるので飽きない。 ・情緒面が乱れていた梨、自分のルーティンが通らず怒ったりして困らせてばかりだと思いましたが、いつも向き合ってくくださりありがとうございます。	・肯定的な意見ありがとうございます。 ・様々な特性をお持ちの利用者様がリズムでの過ごしを通して、健やかに成長できますよう、これからも利用者様だけでなく、保護者の皆様にもご満足いただける事業所運営に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス リズム東伊興				公表日	令和6年10月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・少しスペースが狭いと感じることもまるるが、テーブルの配置などを工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・基準上の職員配置は適切に行われており、加配職員の配置も行っている。また、状況によっては法人内の他事業所からの応援などを要請している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも多いと目の届く範囲が広くなるので、増やしてはいない。</li> <li>・急な職員のお休みがあると足りないと感じることはある。</li> <li>・送迎時に人が足りなかったり、一人で見守る時間が生じてしまうことがある。</li> <li>・お迎え時間が重なったり、急な個別対応が必要になったりした際には不足感はある。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席表やスケジュールなどの張り出し、ホワイトボードへの記載等視覚的配慮を行っている。</li> <li>・内装のリフォームを行い、フロア内の段差は解消している。</li> <li>・ホワイトボードに掲示物を集約するなど、視覚的にわかりやすい工夫を行っている。</li> </ul>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のアルコール消毒を行っている。</li> <li>・テーブル等の移動が可能のため、活動に応じて配置を工夫している。</li> <li>・可動式テーブルを使用することで活動に応じて配置を変えたり、畳んで寄せたりしてスペースを広く確保するなどしている。</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・許可を得てから入室するなど、一定のルールの中で使用可能。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングなどで共有し、対応している。</li> <li>・毎年9月にアンケート実施、集計を行い、10月中にHPで公表している。いただいたご意見などを参考に業務改善に向けての方策を考え、できることから実行に移している。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑談の中などで出たアイデアなども活動に取り入れたりしている。</li> <li>・日頃から話しやすい環境を作ることで、職員が自由に意見を述べやすい雰囲気づくりを心掛けている。</li> <li>・意見を皆で精査し、業務改善に向けてブラッシュアップを図っている。</li> </ul>	・意見を出しにくいと思っている職員がいるのではないかと感じることもある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	社内には複数の事業所があるため、会議等を通して業務改善について話し合う機会は設けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価を行っているかわからない。</li> <li>・第三者による外部評価は実施していない。</li> </ul>	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に行っている。</li> <li>・法人全体での研修を始め、法令で定められた研修の実施に加えて、児童分野では年に4回の合同職員研修を実施している。また、自治体主催などの研修にも積極的に職員の派遣を行い、研修に努めている。</li> </ul>		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時は職員で意見を出し合い、完成後はミーティング時に周知されている。</li> <li>・事業所の特色を活かしながら、放課後等サービスガイドラインに示されている基本活動を組み合わせ、6領域を意識した組み立てを行い、公表している。</li> </ul>		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	5	0	・日々の利用状況、ケース会議、保護者面談等を通じて、利用者様おひとりおひとりのニーズの把握や課題分析を行い、個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議等で話し合っている。</li> <li>・中間評価は職員ひとり一人に行ってもらい、ケース会議において全体での共有を図り、保護者面談を経て個別支援計画書を作成し、職員全体で熟考して完成させている。</li> </ul>	・一部の職員と共通理解が回れていないと感じることがある。	
	14	放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング等で共有されている。</li> <li>・職員が個々に個別支援計画を読み込み、日々の活動の組み立てを行い、備わらない支援が行えるようにミーティングなどで確認をしている。</li> </ul>	・一部の職員と共通理解が回れていないと感じることがある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化されたツールは事業所では使用していないが、家庭から結果を提供いただいたり、日々の行動観察やアセスメントシートを活用したりしながら状況確認を行っている。</li> </ul>		
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人支援については適切な項目や支援内容の設定がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援、地域連携はされていないと思う。</li> <li>・家族支援、移行支援、地域支援、地域連携については狙いの把握、支援内容の理解はおかたでできているものの、個別支援計画書には適切に落とし込めていないのではという不安を感じている。どのようなことが検討され、設定されるべきか、具体例を参考にした研修などを通して学ぶ機会を必要としている。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・最終決定はリーダーがするが、立案時はチームで話し合っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・日々変えている。 ・大きく休業日と休業日で活動を分け、さらに休業日を早曜りの日と通常下校に分けて、提供する活動プログラムの検討を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別の時間と集団の時間は別々に設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・支援開始前ミーティングで確認、共有している。	・打合せをしても理解できないところがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・支援終了後ではなく、翌日のミーティングにて行っている。 ・必要な事務や急を要する事項については送迎後に残っている職員で周知を行い、翌日のミーティングで共有を行っている。	・翌日に振り返りを行っているが、送迎の関係で行えない日もある。 ・送迎からの帰社時刻や、内勤業務もあることから、打合せの時間としては設けていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々記録簿を作り、記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・問題行動が出たときも含め、定期的にケース会議をしている。 ・保護者面談の際に、確認をしながら行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1		・4つの基本活動が何かわかっていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・チャレンジの促しはあるが、「やる・やらない」や「いる・いない」など選択できる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・管理者や児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	・事業所としては関係機関との連携体制は整えており、行政などへの報告、連絡、相談は適宜行っている。	・できている利用者様もいるが、全員ではない。 ・他事業所や学校などの連携は現状適切に取れているという認識はない。事業所からの発信だけでは限界があると感じている。 ・自治体や行政主導で体制の整え方について各所に周知を行っていただきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・年間行事予定、下校時刻の確認などは保護者の皆さまからご協力をいただきながら情報を得ている。また、学校から学校だよりや下校予定表をメールや紙ベースでいただけたところもある。 ・HPと紙での相違や、質問などがあつた際はお迎え時や電話などで確認を行っている。	・ICT化の加速により、学校からの情報共有にはばつきがみられるようになっている。特に連絡調整については学校や担任によりばらつきがあり、ほぼ学級担任と顔を合わせていない、申し送りを受けていない状況も現状発生している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・データ等で共有したり、保護者様を通して情報をいただいている。 ・必要に応じて、保護者様の承諾を得て情報共有をさせていただいている。	・できているかわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・データにて提供できる体制が整っている。 ・社内の他事業所への通所等が決まった場合は情報の提供を行っている。また、利用者様お一人おひとりの移行がスムーズに行われるように、必要に応じて、保護者様の承諾を得て情報提供をさせていただいている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・足立区の子ども発達支援事業所ネットワークには積極的に参加しており、研修受講や情報交換などを行っている。	・地域の交流がない。 ・第三者の視点から支援について助言をいただける良い機会だと感じているが、準備や日程調整などの都合で受けられる
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・公園や児童館にて遊具の借り合いなどの交流はある。 ・空間の共有などはできている。	・児童館に遊びには行くが、交流はない。 ・活動を共に行う機会や交流まではできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	区の自立支援協議会こども部門の児童発達支援事業所ネットワークの会合や研修などは積極的に参加しています。	・やっているかわからない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳でのやり取りや、送迎時に情報交換している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・利用時の行動観察や活動状況を通して、利用者様のニーズの把握に努めている。 ・面談等で確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・面談時に説明を行い、同意をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・面談、電話、メールなどで話を聞く機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		・話は出ているが実現には至っていない。 ・弊社の他事業所（成人分野）ではフェスなどのイベント開催などを行っている。連携をとり、活用できる場面はないか検討していく。また、足立区内の事業所合同でのイベントの開催なども今後検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・迅速に対応し、会社、職員で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・年2～3回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・アセスメントシートにて確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		・現在は該当する利用者がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・研修等で行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・会社への報告と、ミーティングでの共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・保護者様に説明し、同意をいただいている。	